

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9929		事務事業名称	配水管布設事業						短縮コード	経常	9929	臨時	
予算区分	会計	62	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	拡張工事費	目	01	拡張工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
未給水区域を無くすとともに，管網の整備を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
地下水汚染の進行及び開発による住宅地の増加に伴う未給水地区の増大。 。					大項目（節）	04	水道							
					中 項 目	01	水道							
					小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上							
					細 項 目	01	安定供給の向上							
				実施計画の計画事業	4403	給水区域の拡大事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	未給水区域（睦・阿蘇地区の一部及び開発に伴う住宅地）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 未給水区域に配水管布設を2，400m計画し，3，068.2mの送・配水管を布設した。							
	※平成20年度に計画していること： 未給水区域に配水管布設を5，103m計画する。							
意図 （何を狙っているのか）	市内全域において水道による安定給水を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	計画布設延長	m	2,126	2,400	3,068.2	5,103	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	未給水区域の計画布設延長	m	2,126	2,400	3,068.2	5,103	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	未給水区域の計画布設延長	m	2,126	2,400	3,068.2	5,103	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9929	事務事業名称	配水管布設事業			所属名	建設課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円	60,000	60,000	60,000	100,000	
		一般財源	千円	98,480	147,350	95,271	76,806	
		その他	千円	2,896	46,510	17,515	157,532	
	主な事業費の内訳			工事費156,882(繰越分1.841千円含)千円・委託料4,494千円	工事費247,066千円・委託料6,794千円	工事費170,161千円・委託料2,625千円	工事費300,388千円・委託料33,950千円	
人件費(B)			千円	32,083.3	41,343	14,872.7	24,518.5	
トータルコスト(A)+(B)			千円	193,459.3	295,203	187,658.7	358,856.5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		未給水区域を無すことにより、快適な生活空間都市をつくるという市の施策に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		未給水区域は減少しているものの睦・阿蘇地区の一部及び開発に伴う住宅地への布設が残されている。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		基本的には法（水道法）により市が行う事業である。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状のままで「対象」・「意図」が結びついている。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 民間委託等		体制の充実及び職員の研修と専門性を生かした民間委託の導入により、有効性・効率性を向上させる。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
						2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		事業の有効性, 効率化を図るには関連する委託業務の見直し拡充することから経費の増大がある。				
			☐ ない						

コード	9929	事務事業名称	配水管布設事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			体制の充実及び職員の研修と専門性を生かした民間委託の導入により、今後も引き続き給水区域を拡大していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			拡大することによる経費の増加と成果の向上。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
未給水区域を解消し、安定給水及び生活環境の向上。									

所属長コメント	未給水区域の安定給水や水質改善を解消することから、配水管の布設を計画的に進め、安全な水の安定供給に努めることから継続する必要がある。また、設計委託業務の民間委託の推進を図りたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			経費の増加を伴うことは、費用対効果を検証し必要と認めらる際は推進するべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									